

小山市事務事業評価シート

令和4年度版

No. 8

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	キッズランドおやま運営事業		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	③ その他		事業
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	3 未来を担う次世代の育成と 学び・文化を育むひとづくり	<4> 継続業務・新規業務の別
	中項目	3-2 未来を担うおやまっ子育て	継続業務
	小項目	3-2-1 子育て支援	<6> 担当部(局)
	施策	子育て世代の屋内運動遊び場の充実	保健福祉部
<9>根拠法令・計画等		<10>関連・類似事業	<7> 担当所属
<11> 会計	一般	会計	<8> 担当係等
<13>実施期間	年度 ~ 年度	<12>予算科目	子育て家庭支援課
<15>実施手法	補助金・負担金・貸付金等	<14>全体事業費	子育て政策係
		「その他」の場合 ()	

2. Do - 実施 -			
<16> 事業・業務の概要	ロプレビルリニューアル構想に基づき、子どもの運動機能向上や子育て世代の交流の場、及び集客を図ることのできる施設として、ロプレビル5階で運営する「キッズランドおやま」に運営費補助金を交付する。		
目的	<17>事業・業務の目的	子どもの健全育成のため、天候に左右されることなく思い切り体を動かせる屋内子どもの遊び場「キッズランドおやま」の運営をする。	
	<18>事業・業務の対象	子育て中の家庭	
<19> 令和3年度の活動内容	屋内子どもの運動遊び場として、安全・安心で快適な場所として「キッズランドおやま」を運営したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月8日から9月30日まで臨時休業、また営業時間も1クール75分に短縮して実施した。		
手段	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位
		指標とした理由	事業者と打ち合わせをすることで、補助金が適切に使用されているか、また、事業計画での重点目標が達成できているかを確認し、利用者の増加へとつなげていく。
		指標とした理由	
<21> 事業・業務の成果	新型コロナウイルス感染対策として、営業時間の短縮、入場者制限や使用遊具の制限、遊具の消毒等感染症対策を徹底し、コロナ禍においても安心な遊び場の提供に努めた。		
成果	<22> 成果指標 (活動した結果得られた成果の量や実績)	指標名	単位
		指標とした理由	事業の成果を図るうえで、子どもの運動遊び場をより多くの方に利用してもらうため入場者数を指標とした。
		活動指標との関係や成果指標とした理由	

資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	計画(予算)
		千円	52,322	48,538	42,322	42,322	42,322
		事業費等	千円	50,000	46,216	40,000	40,000
		財源内訳	千円				
		国・県補助金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	50,000	46,216	40,000	40,000
		上記の主な用途	子どもの運動遊び場運営に係る賃借料、光熱費、人件費、事務費等経費				
	人件費	千円	2,322	2,322	2,322	2,322	
	正職員	千円	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	
	他の職員	千円	×	×	×	×	

3. Check - 評価 -			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である
		理由	未来を担う子どもを対象に健全育成を目的として実施しており、妥当である。
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である
		理由	新型コロナウイルス感染症の影響で入場者数が減ることにより入場料収入が減り、施設運営に苦慮しているなか、事業継続のため補助金の交付は妥当である。
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある
	理由	天候に左右されずに、一年中活動できる施設は少なく、事業のニーズはある。	
	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1. 妥当である	
	理由	子どもの健全育成とともに、子育て世代の交流の場として寄与している施設であり、低料金で多くの親子が利用しやすいよう、市が実施する事業として妥当である。	
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある
		理由	コロナ禍ではあるが、実施可能な魅力的なイベントの計画など来場者の増加につながるような事業内容を工夫する必要がある。
<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいか?		2. 中位	
理由	一年中、子どもが快適に遊べる施設を提供することにより、市民サービスの向上につながっている。		
効率性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	2. 向上の余地はない	
	理由	コロナ禍の中、既にスタッフの勤務時間の調整など実施し、コスト削減に努めている。	
公平性	<31> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	2. 検討を要する	
	理由	新型コロナウイルスの影響により来場者数が少なくなっており、事業継続のために受益者の負担について増額するなどの検討を要する。	
<32> 総合評価	3. 改善の余地はない	理由	「キッズランドおやま」のような、一年中快適に遊べ、子どもの運動機能向上や子育て世代の交流の場として楽しく使える施設は他には無く、ロプレビルの集客にも寄与しているため、現状維持が妥当と考える。

4. Action - 改善 -			
事業の改善	<33> 事業の課題 事業の改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画よりも利用者が少ない状況が続いており、事業者の経営状況にも影響を及ぼしかねない。事業継続のために、補助金の交付はこのまま必要であるが、受益者負担の観点から利用料の増額等、事業継続のための改善点を検討していく必要がある。	

5 Plan - 計画 -			
事業の方向性	<34> 1次評価	所属長	3. 現状維持
	理由	コロナによる来場者の減を受け、収入と支出の状況を確認しながら、今後も継続できるよう支援していきたい。	
	<35> 2次評価	所管部長	3. 現状維持
理由	新型コロナの影響を受け、来場者数は大きく減少したが、それ以前は多くの親子に会場していただき、交流の場となっていることから、今後も継続していきたい。		
事業の計画	<36> 実施計画・今後の方針	新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、より安心・安全な遊び場として「キッズランドおやま」が運営されるよう事業者と協議を進め、必要な補助金を交付する。	
	<37> 活動・成果目標	感染症予防を徹底することにより、より多くのお客様に利用してもらうよう務める。	